

こんにちはは **日本共産党** まさかす
いのくま正一です

区政報告

30

2003年1月

〒105-8511

日本共産党港区議員団

港区芝公園1-5-25

電話 357812945

FAX 357812947

メール jcp-nkgd@a.rosenet.ne.jp

トップクラス豊かな区財政は区民のために

毎年巨額の黒字 積立金は **671億円** 区政転換のため今年も頑張ります

「区民の税金は区民のために使う」、自治体として当たり前前の財政運営を行うよう提案してきました。

ところが、港区は区民向けの予算は次々と削減、高齢者の紙オムツなど細かいところまでも切り捨て、受益者負担の名で利用料金を押しつける一方で、森ビルなどが進める「市街地再開発」事業へ二百億円も区民の税金を投入しているのです。

区民生活は、倒産と廃業、リストラ、社会保障の切り捨てなど深刻です。こうした時こそ、港区が区民のために税金を使うべきです。

港区は、この十年間、少ない年で一七億八千万円、多い年は七二億三千万円の黒字。その結果六七一億円の積立金(貯金)をもっています。

共産党区議団は、年もがんばります。

大企業の再開発などへの補助金支出は抜本的に見直し、港区の豊かな財政を、区民のくらし、福祉、教育、中小企業のために活用するのが当たり前だと思います。そのためには今年もがんばります。

固定資産税の1割減免

来年度も継続

みなさんの要求と運動が都を動かす

東京都は、400㎡以下の非住宅用地の固定資産税2割減免を来年度も継続すると発表しました。

区民のみなさんの粘り強い運動の大きな成果です

いのくま区議は、「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」とともに、区民の「なぜ固定資産税は下らないのか」という声を示し、不服申し立てや都税事務所交渉などに取り組んできました。

1ヶ月で1,600名もの署名

2割減免を来年度以降も継続させるため、都議会に、「来年度以降も減免を継続すること」などの請願署名に取り組み、1,600名もの署名が寄せられました。この多くの声が、2割減免継続に結びつきました。

この請願には、日本共産党、生活者ネット、自治市民が紹介議員となり、都議会に提出しました。自民、公明、民主党は紹介議員になりませんでした。

こんなことが許されるの？
大企業に至れり尽くせりの「民都機構」
 「交換」によって手に入れた国際興業用地（浜松町2丁目）を民都が買い上げ、税金は減額。国際興業は事実上無償で借りて利益を得る構図

議会には「土地交換」に当たって「10年間の転売禁止」を報告していたのに、浜松町2丁目用地を国際興業から「民都」が買い上げ、国際興業に事実上無償で貸しています。土地交換は昨年3月7日。ところが、契約前の2月26日に「民都」から港区に「民都への譲渡及び民都から国際興業への譲渡を承諾」してくれと照会書が提出され、港区はその日の内に「承諾」の回答をしています。

議会でも説明を求めます。みなさんの声もお寄せ下さい。

みなさんの要求が実現 愛宕トンネル抜本改修設計 中学校へのエアコン設置

補正予算で

昨年十一月に開かれた区議会で、中学校へのエアコン設置費用二、五〇〇万円と、愛宕トンネルの本格的な補修のための設計費用、六四〇万円の補正予算が決定されました。

いのくま区議が壁崩落事故から一貫して議会できりあげ、要求してきた、愛宕トンネル

をめぐっては、関係町会や個人の方々が、本格的な改修を求め港区へ陳情したことが大きな力になりました。

中学校へのエアコン設置では、学校関係者などからクーラー設置を求める二つの請願が出されました。

七名の党区議団はいづれも紹介議員になりました。自民・区民クラブ、かがやきなど与党派は、一昨年に提出された請願には紹介議員とならず、審議してきた区民文教委員会で、「採択」を主張したのは、日本共産党と一人会派だけ。与党派は多数で、「継続」にしました。

与党派は、保護者から同趣旨の請願が出され、区民の声に逆らえず、採択によろやく賛成したのです。

芝公園の緑と文化財を守るため

質問 惣門付近から出土した石組みの保存・公開
西武鉄道が約束していた再度の建築説明会開催

答弁 教育長 西武と協議をしている。区議会に報告する
区 長 速やかに再度の説明会を行うよう指導する

西武鉄道は、一昨年の「建築説明会」で、参加者に対して「再度説明会を行なう」と約束していたにもかかわらず、それを無視して芝公園に100メートルもの超高層ホテル建設を強引にすすめています。「芝公園を守る会」が、西武鉄道と交渉したところ「港区教育委員会から発掘調査が終わるまで説明会はやらないでほしい」と「区民からも要望があった」と言われたので、「やるつもりだったが、できなくなった」と、理屈にならない釈明をしました。常識はずれの西武鉄道に嚴重抗議し、工事を中断させ、建築説明会を約束通り行なわせるべきです。

惣門付近から基礎石組みが出土し、教育委員会と西武鉄道で保存・公開などの協議が行なわれているが、区民要望を入れさせることが重要。協議状況は随時議会に報告し区民の納得の上で、最終的な確認をすべき。

西武鉄道によって破壊・移設された文化財の再々調査結果は、まったく不十分なため、教育委員会独自の追跡調査が行なわれているが、「広報みなと」やホームページで情報提供を呼びかけ、ネットワークを活用するべき。と質問しました。

区長は、建築説明会での経緯を踏まえ、速やかに再度の説明会を行うよう指導すると答えました。

教育長は、「出土した石材の保存・活用について、教育委員会の提案を事業者に示した。事業者に、具体的な対応案を検討させている。案が出た段階で、議会に報告する。惣門の補修、芝公園の歴史を後世に伝えていく方途なども、その都度報告する。」「文化財関係者等のネットワークを活用する方法を検討し、調査の精度を一層高める」と答えました。

マンション支援策を提案

どのマンションでも建替えや大規模修繕の問題は重要な課題です。

党区議団は、マンション問題の解決へ次の質問を行いました。

大規模修繕の調査・診断費用の助成制度をつくること。

長期修繕計画作成への支援・助成策を検討実施すること。

大規模修繕工事の資金不足の事態をなくすため、管理組合が融資を受ける際の利子補給制度、助成制度を区として実施すること。

日本共産党港区議団のホームページができました。是非ご覧下さい
http://www.jcp_minatokugidan.gr.jp

安心して介護保険を利用できるように

保険料・利用料の減免拡充 特養ホーム建設など 提案 要求

介護保険制度は2003年に見直しの時期を迎えます。利用料について、国は来年度から六%、二〇〇五年度からは一〇%に引き上げる計画で保険料も引き上げる方向です。党区議団は、高すぎる保険料の問題を一貫して指摘し、改善を求め、区独自の保険料の軽減策が一部実現しました。しかし、条件が高齢者の生活実態にあっていないため、区の六〇〇名という予測を大きく下回り、昨年三月三十一日現在二四九名です。

区が行った調査でも、「保険料が高く年金では支払いが難しい」「保険料が高いので安くしてほしい」「収入が減ったので利用料一割でも負担が大きいです」などの声が多く聞かれました。日本共産党は、この声を受けて、七月の「決起集会」に続いて、十一月七日に外形標準課税断固反対の総決起大会を開催。区商連の役員の方々を含め、全国から千三百人が参加し、「外形標準課税導入に絶対反対」「消費税の改悪に反対」などの大会決議を採択しました。

マスコミ報道によれば、こうした声におされ、当面中小企業を除く外形課税が検討されているようですが、一度導入されれば、いつ中小企業へ拡大されるかわかりません。中小企業全体の九割以上が断固反対の声を上げました。港区の経済の担い手である中小企業をまもるため、区と区議会が外形標準課税導入反対の意見書を提出するよう九月議会に続き十一月議会でも提案しました。区長も議長も意見書提出に消極的で、まとまっています。断固反対の声を上げましょう。

日本共産党
外形標準課税に断固反対の意見書提出を再度提案
区長も議長も消極的

との声が圧倒的です。十一月の議会でも党区議団は、区独自の保険料・利用料の軽減策を高齢者の生活実態にあわせ、最低でも、住宅費を配慮すること、預金三百万円の条件をはずすこと。ホームヘルパーの三%負担を継続するよう国に求めること。国が六%に引き上げた場合でも、港区独自で三%負担を継続させること。以上を求めました。さらに、特養ホームの待機者が七七〇名という実態から、赤坂、新橋の建設以後の計画を明らかにせよと求めました。区長は、「社会全体で支えるのが介護保険制度」と繰り返して、保険料・利用料の改善、特養ホーム建設に答えようとしていません。